



江津市江津町の本町第三自治会が導入した携帯電話のメール連絡網の運用管理者として、登録会員に、自治会の連絡だけでなく、防犯情報や地元スボの試合結果などを積極的に情報発信している。

「災害時の安否確認など

地域のIT普及に取り組む

さんとう 山藤  
あきひろ 昭彦さん



### スボ少結果など積極発信

にも役立つメールの良さを 人もおり、郡会に住む家族  
多くの人に知ってもらいた から喜ばれている」  
い。導入をきっかけにメー 父親の介護などのため、  
ルのやりとりができるよう 火力発電所の設計などで三  
になった七十代、八十代の 十年働いた会社を辞め、川

崎市から昨年十一月にUターン。自治会の運用管理者はボランティアだが、メールの情報伝達システムのビジネス利用を図るための活動を展開している。

「このままでは、IT化の遅れた古里が、世の中の流れから取り残されてしまう」と憂慮。この先は「ITコンサルタント」として地域で仕事をしていくことが目標だ。「ほとんど疎遠だった一地域の同級生らに助けられ、少しずつ仕事の幅を広げている。」

江津市江津町。五十二歳。